

# 加藤レディスクリニックを受診された患者さまへ

2024年6月19日

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で試料および診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。研究参加への同意は患者様の自由意思にて隨時撤回が可能です。

研究課題名 (研究番号)	新規凍結融解液およびプロトコールがヒト凍結融解胚の生存性に及ぼす影響 (24-03)
当院の実施体制	研究責任者：加藤 恵一（院長） 研究分担者：江副 賢二（研究開発部）
本研究の目的	当院ではこれまで、動物の卵を用いた研究により、凍結・融解の際に使用する溶液や手順の改良に取り組んできました。その結果、胚に負担をかける可能性のある成分の使用量を減らし、操作に要する時間を短くする方法を開発しました。この方法では、従来の方法と比べて、凍結・融解後の卵子の状態は同等であり、その後の発育が良好であることが動物の研究で確認されています。しかし、これらの結果は動物の卵を用いた研究によるものであり、ヒトの卵に用いた際に同様の効果が得られるかどうかは明らかになっていません。そこで本研究では、研究利用への同意が確認されている凍結胚盤胞を用いて、従来の方法と新しく開発した方法を比較し、その安全性や有用性を調べます。本研究により、新しい凍結・融解方法の有効性が確認された場合、将来的に治療へ応用することで、妊娠成績の向上につながる可能性があります。なお、本研究は基礎的な研究であり、現在受けおられる治療内容や治療成績に影響を与えるものではありません。
調査データ該当期間	2016年1月1日から2024年5月31日まで
研究の方法	○対象となる患者さま 該当期間中に凍結胚盤胞の廃棄を申し出られ、かつ胚の研究利用について同意をいただいた患者さま ○利用する試料・情報 凍結胚盤胞、胚盤胞の背景（個人情報は除く）
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
試料・情報の他の研究機関への提供および提供方法	該当なし
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会および論文等で発表を予定していますが、その際にも患者さまを特定できる個人情報は利用しません。 個人情報は当院の個人情報管理者が当院内で厳重に管理します。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	メール：k-ezoe@towako-kato.com 担当者：加藤レディスクリニック 研究開発部 江副 賢二
備考	なし